

【F6で「1 子どもがいる」と答えた方だけお答えください】

F6-1 一番下のお子さん（ひとり子も含む）の年代（○は1つ）

1 乳幼児（就学前）	2 小学生	3 中学生
4 中学校卒業以上で未成年	5 成人	

F7 あなた自身が子どもの頃に育った家庭では、両親は就労していましたか。父親・母親それぞれについてお答えください。（○は1つ）

<父親の就労状況（○は1つ）>	<母親の就労状況（○は1つ）>
1 就労していた（フルタイム）	1 就労していた（フルタイム）
2 就労していた（パート・アルバイト等）	2 就労していた（パート・アルバイト等）
3 就労していなかった	3 就労していなかった
4 父親は、いなかった	4 母親は、いなかった
5 わからない	5 わからない
6 その他（ ）	6 その他（ ）

I 男女の役割や地位に関する意識について

問1 あなたは、次にあげるような分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。

（ア）～（ク）のそれぞれについてお答えください。（○はそれぞれ1つ）

	優遇されている	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
（ア）家庭生活では	1	2	3	4	5	6	
（イ）職場では	1	2	3	4	5	6	
（ウ）学校教育の場では	1	2	3	4	5	6	
（エ）町内会など地域活動の場では	1	2	3	4	5	6	
（オ）政治の場では	1	2	3	4	5	6	
（カ）法律や制度上では	1	2	3	4	5	6	
（キ）社会通念・慣習などでは	1	2	3	4	5	6	
（ク）社会全体では	1	2	3	4	5	6	

問2 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたはど
う思いますか。あなたの考え方に近いものを次の中からお選びください。(○は1つ)

1 賛成	3 どちらかといえば反対	} 問3へ
2 どちらかといえば賛成	4 反対	
	5 わからない	

【問2で「1 賛成」「2 どちらかといえば賛成」と答えた方だけお答えください。】

問2-1 そのように思う理由は何ですか。(○は2つまで)

1 男性は仕事、女性は家事・育児に向いているから
2 家族を養うのは男性の責任で、子育てや夫の世話は女性の責任だから
3 子どもが小さいころは、母親が家にいたほうがいいから
4 子どもの頃から、そういった教育をされているから
5 女性は仕事を持っても、男性よりも不利な状況に置かれるから
6 社会全体にそういった風潮があるから
7 個人的にそうありたいと思うから
8 わからない
9 その他 ()

問3 女性が働くことについて、あなたはどのようにお考えですか。(○は1つ)

1 子どもができて、ずっと働き続ける方がよい(育児休業を取得する場合を含む)
2 出産を機会に退職し、育児が一段落した後、再び働く方がよい
3 出産を機会に退職し、家事・育児に専念する方がよい
4 結婚を機会に退職し、家事・育児に専念する方がよい
5 女性は働かない方がよい
6 わからない
7 その他 ()

問4 あなたは、女性が働く上で、支障となることはどのようなことだと思いますか。
(○はいくつでも)

1 家事・育児・介護と仕事の両立が大変である
2 家族の理解や協力が得られない
3 仕事をしている間に必要となる保育施設や介護サービスなどが利用しにくい
4 能力を正當に評価されない
5 昇進・昇格・給与に男女間で差がある
6 本人や配偶者の転勤がある
7 長時間労働や残業がある
8 結婚・出産時に退職慣行がある
9 年齢による就職の難しさがある
10 特に支障となることはない
11 わからない
12 その他 ()

問4 あなたは、働く意欲のある女性が働き続けたり、再就職をしたりするために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 労働時間の見直し(労働時間の短縮、短時間勤務、時差出勤の普及など)
- 2 在宅勤務など時間や場所にとられない柔軟な働き方の普及
- 3 家族の理解や同意
- 4 家事、子育て、介護などへの家族の参加・協力
- 5 男女それぞれの意識(男性は仕事、女性は家庭など)を変えること
- 6 昇進、昇格、仕事の内容など職場での男女平等の徹底
- 7 子育て、介護のための休暇・休業をとりやすい環境整備
- 8 保育や介護施設、サービスの充実
- 9 結婚、出産などを理由とした退職後の再雇用制度の普及
- 10 女性自身が意欲・能力を高めるための自己研さん
- 11 能力開発や技術習得のための講座・研修会などの実施
- 12 求人・職業情報の提供や相談窓口の充実
- 13 特に必要なことはない
- 14 わからない
- 15 その他 ()

問5 政治や会社などにおいて、政策や方針を決定する立場や指導的地位に女性が少ないという状況があります。あなたは、その理由は何だと思いますか。(〇は3つまで)

- ◆国会議員に占める女性の割合／衆議院：8.1%、参議院：16.1% (平成25年)
- ◆民間企業(100人以上)の管理職に占める女性の割合／部長相当職：5.1%、課長相当職：8.5% (平成25年)

- 1 家庭、職場、地域において、性別による役割分担の意識が強いため
- 2 男性優位の組織運営になっているため
- 3 家族の支援や協力が得られないため
- 4 女性の積極性が十分でないため(男性の方が積極性があるため)
- 5 女性の能力を向上させる機会が不十分なため
- 6 女性の参画を積極的に進めよう意識している人が少ないため
- 7 女性のロールモデル(働き方や生き方の見本となる存在)が少ないため
- 8 わからない
- 9 その他 ()

(2) あなたの現実（現状）に最も近いものを次の中からお選びください。（○は1つ）

- | |
|------------------------------------|
| 1 「仕事」を優先している |
| 2 「個人・家庭生活」を優先している |
| 3 「地域活動」を優先している |
| 4 「仕事」と「個人・家庭生活」をともに優先している |
| 5 「仕事」と「地域活動」をともに優先している |
| 6 「個人・家庭生活」と「地域活動」をともに優先している |
| 7 「仕事」と「個人・家庭生活」と「地域活動」をいずれも優先している |
| 8 わからない |

問9 平均的な1日の生活時間をどのように過ごしていますか。仕事や学校がある日と無い日の両方についてお答えください。（枠内に「およその合計時間をご記入ください。該当がない場合は、「0時間0分」とご記入ください。」

	仕事や学校がある日	仕事や学校が無い日
(ア) 仕事、学校（通勤・通学時間を含む）	時間 分	
(イ) 家事（炊事、買物、洗濯、掃除など）	時間 分	時間 分
(ウ) 育児、介護	時間 分	時間 分
(エ) 自由時間（趣味、読書、テレビなど）	時間 分	時間 分

問10 あなたは今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に参画していくためには、どのようなことが特に必要だと思いますか。（○は3つまで）

- | |
|--|
| 1 男性が家事などに参加することについて、男性自身の抵抗感をなくすこと |
| 2 男性が家事などに参加することについて、女性の抵抗感をなくすこと |
| 3 男性が家事などに参加することについての社会的評価を高めること |
| 4 労働時間短縮や休暇制度を充実させ、利用を促進すること |
| 5 国や市などが講座等を開催し、男性の家事や子育て、介護等の技能を高めること |
| 6 男性が家事などについての関心を高められるよう啓発や情報提供を行うこと |
| 7 仕事と生活の両立等の問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること |
| 8 家事などを男女で分担するようなしつけや育て方をすること |
| 9 特に必要なことはない |
| 10 その他（ ） |

問 14 あなたは、自分の子どもにはどの程度までの教育を受けさせたいとお考えですか。

※子どもがいない方も、仮にいと想定してお答えください。(○はそれぞれ1つ)

<男の子の場合 (○は1つ) >	<女の子の場合 (○は1つ) >
1 中学校・支援学校中学部	1 中学校・支援学校中学部
2 高等学校・支援学校高等部	2 高等学校・支援学校高等部
3 専門・専修学校	3 専門・専修学校
4 短期大学・高等専門学校	4 短期大学・高等専門学校
5 大学	5 大学
6 大学院	6 大学院
7 その他 ()	7 その他 ()
8 わからない	8 わからない

問 15 あなたは、自分の子どもには将来どのような生き方をしてほしいと思いますか。

※子どもがいない方も、仮にいと想定してお答えください。(○はそれぞれ2つまで)

<男の子の場合 (○は2つまで) >	<女の子の場合 (○は2つまで) >
1 社会的な地位を得る	1 社会的な地位を得る
2 経済的に自立した生活をする	2 経済的に自立した生活をする
3 人間性豊かな生活をする	3 人間性豊かな生活をする
4 家族やまわりの人たちと円満に暮らす	4 家族やまわりの人たちと円満に暮らす
5 社会に貢献する	5 社会に貢献する
6 本人の個性や才能を生かした生活をする	6 本人の個性や才能を生かした生活をする
7 本人の意思に任せる	7 本人の意思に任せる
8 その他 ()	8 その他 ()
9 わからない	9 わからない

Ⅲ 女性に対する暴力（DV）について

問 16 あなたは、次のようなことが配偶者や恋人から相手に対して行われた場合、暴力だ
 と思いますか。（ア）～（ス）それぞれについてお答えください。（○はそれぞれ1つ）

	どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力にあたる場合も そうでない場合もあると 思う	暴力にあたるとは思 わない	わからない
（ア）物を投げつける	1	2	3	4
（イ）平手で打ったり、足で蹴ったりする	1	2	3	4
（ウ）殴るふりや蹴るふりをして威嚇（いかく）する	1	2	3	4
（エ）話しかけても長い間無視する	1	2	3	4
（オ）大声で怒鳴る	1	2	3	4
（カ）「誰のおかげで生活できるんだ」、「役立たず」など言う	1	2	3	4
（キ）大切にしているものを捨てたり、壊したりする	1	2	3	4
（ク）外出や携帯電話・メールを細かく監視する	1	2	3	4
（ケ）相手が社会活動や仕事をするのを嫌がる	1	2	3	4
（コ）必要な生活費を勝手に使う／相手に渡さない	1	2	3	4
（サ）意に反して性行為を強要する	1	2	3	4
（シ）意に反して、ポルノ（アダルト）雑誌・ビデオを見せる	1	2	3	4
（ス）避妊に協力しない	1	2	3	4

問 17 あなたは次のような法律や、相談窓口等を知っていますか。（ア）～（ク）それぞれ
 についてお答えください。（○はそれぞれ1つ）

	知っている	名称も内容も 知っているが 内容は知らない	全く知らない
（ア）DV防止法（配偶者からの暴力防止と被害者保護に関する法律）	1	2	3
（イ）仙台市DV防止基本計画	1	2	3
（ウ）仙台市配偶者暴力相談支援センター	1	2	3
（エ）仙台市「女性への暴力相談電話」	1	2	3
（オ）エル・ソーラ仙台「女性相談」	1	2	3
（カ）仙台市の各区役所で行っている「子供家庭総合相談」	1	2	3
（キ）宮城県女性相談センター（宮城県配偶者暴力相談支援センター）	1	2	3
（ク）特定非営利活動法人ハーティ仙台	1	2	3

IV 東日本大震災の影響等について

問 18 平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災後、あなた自身に困ったことや問題は起きていますか（起きましたか）。（○はいくつでも）

- 1 住み慣れた場所を離れざるを得なくなった
- 2 仕事を解雇された（または仕事を失った）
- 3 震災前よりも労働時間が長くなった
- 4 震災前よりも収入が減った（または経済的に苦しくなった）
- 5 生計を維持するために、望まない仕事につかざるを得なくなった
- 6 進学先や就職先を変更せざるを得なくなった
- 7 家事、育児、介護等の負担が増えた（または負担を感じるようになった）
- 8 家族や親族等、望まない人と同居することになった
- 9 家族が離れ離れに暮らすようになった
- 10 飲酒量が増えた
- 11 配偶者やパートナー、恋人から暴力を受けるようになった（または暴力がひどくなった）
- 12 特に変化はない
- 13 わからない
- 14 その他（)

問 19 東日本大震災後、普段の生活において、あなたの意識や気持ちに変化はありましたか。（○はいくつでも）

- 1 ストレス等で精神的に辛く、眠れなくなった
- 2 孤独を感じるようになった
- 3 何事にもやる気が起きなくなった
- 4 イライラすることが増えた
- 5 家族や親戚とのつながりをより大切に思うようになった
- 6 人と人とのつながりをより大切に思うようになった
- 7 ボランティアなどで社会に貢献したいと思うようになった
- 8 自分の健康を大切にしたいと思うようになった
- 9 自分のことは自分で守らなければならないと思うようになった
- 10 知りたい情報は他人に頼らず自分で探すようになった
- 11 特に変化はない
- 12 わからない
- 13 その他（)

問 20 東日本大震災時、男女のニーズの違いに応じた取り組みが十分に行われなかったという問題がありました。今後、災害が起きた場合に、「性別による違い」に配慮した取り組みとして、あなたが特に必要だと思うことはどれですか。(〇は3つまで)

- 1 防災・復興のための計画を策定する場や、事業を企画する場に男女がともに参画すること
- 2 避難所の運営の責任者に男女がともに加わること
- 3 避難所に授乳室・更衣室・洗濯物干場など、女性専用のスペースを設けること
- 4 避難所での性暴力を防止するため、トイレの場所等に配慮したり、見回りを強化すること
- 5 支援物資の備蓄・供給時に男女のニーズの違いに配慮すること
- 6 男女のニーズの違いに応じた相談窓口の設置や情報提供を行うこと
- 7 男女の違いに応じた救援医療を行うこと
- 8 妊産婦や乳幼児を持つ親のケアを十分に行うこと
- 9 DV加害者に被害者の場所が知られないよう、個人情報の開示等に配慮すること
- 10 特に必要だと思うことはない
- 11 わからない
- 12 その他 ()

V 仙台市の今後の取り組みについて

問 21 男女共同参画社会※を実現するために、今後、仙台市はどのようなことに特に力を入れていくべきだと思いますか。(〇は3つまで)

※男女共同参画社会：男女が、その個性と人権を尊重し合うとともに、性別にかかわらず、多様な生き方を選択し、その能力を十分発揮できる社会

- 1 仙台市の審議会や市職員、企業や団体等において、政策や意思決定の場への女性の登用を促進する
- 2 男女共同参画に関する広報・啓発・学習機会を充実する
- 3 女性の生涯を通じた健康づくりや男女の違いに応じた健康支援を行う
- 4 DV・セクハラなど性暴力防止のための取り組みや被害者支援を行う
- 5 男性の家事、育児、介護への参加を促進する
- 6 労働時間の短縮や保育・介護サービスの充実など、男女が共にワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を実現できるような支援を進める
- 7 子育てや介護などで一度仕事を辞めた人への再就職を支援する
- 8 ひとり親家庭の就業や生活自立に向けた支援を充実する
- 9 男女共同参画の視点からの震災復興・防災対策を推進する
- 10 高齢者や障害者、外国人女性等、地域で孤立しやすい人たちを支える取り組みを行う
- 11 特になし
- 12 わからない
- 13 その他 ()

問 22 最後に、男女共同参画社会についてのご意見やご要望がありましたら、ご自由にご記入ください。

調査はこれで終了です。ご協力ありがとうございました。
ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて
〇月〇日（〇）までにご投函ください。